

平成25年度全国自立援助ホーム協議会事業報告

重点課題

- ① 会員ホームが100ホームを超え、緩やかではあるが少しずつ増えている。ブロック生などの組織作りにはまだ検討が必要で今後も検討を行っていく必要があると再確認した。
- ② 今年度も制度政策委員会を中心に国家予算要望書を作成し厚生労働省へ提出を行った。そんななか自立援助ホームに対応した損害保険加入の検討を行った。
- ③ 研修委員会を中心にホーム長研修をはじめとした各種研修を行った。またあり方検討委員会も立ち上げ、今後の自立援助ホームの質の向上へ向けた動きをスタートさせた。

重点事項

- ① これまで東京都、中四国、九州各地域で自発的に連絡協議会として活動しているところだが、今年度北海道でも新たな連携を模索する動きがあった。
- ② 厚生労働省との意見交換の場に参加し、積極的に厚生労働省とのやり取りを行った。また、運営役員会の中でも、次の要望について議論を重ねていった。
- ③ 女性スタッフ研修、新規ホーム研修、スタッフ研修など、より現場で直接支援するスタッフが参加できる研修を充実させることができた。
- ④ 全国大会（20回記念東京大会）において、これまでの自立援助ホームの原点を再確認し、これからの自立援助ホームの位置づけや支援方法についての問題提起を行うことができた。また、自立援助ホームのあり方検討委員会を立ち上げ、議論をスタートさせた。
- ⑤ 広報委員会を設置したことにより、協議会事務局の負担軽減につながったし、新たな広報活動についても議論をスタートさせた。

平成25年度 事務局事業報告

1. 事務局員 役割分担

- 事務局長 <恒松(あすなろ荘)>
 - ・会員ホームの相談対応
 - ・協議会の会費の確認の連絡等
 - ・各ホームへの補助金等（プロミス・エキスパートなど）の振り込み
- 事務局次長 <小久保（カリヨンタやけ荘）>
 - ・会計責任者
 - ・入会退会関係（入会申し込み書・会員データ・会員施設一覧・電話での対応）
 - ・運営役員会の交通費の支払い
 - ・協議会の会費の徴収・祝い金振込み
- 庶務 <大屋（おうぎ寮）>
 - ・各種書類（通知文・ハンドブックなど）の配送
- 庶務 <田村（倉吉スマイル）>
 - ・メールにて各種連絡
 - ・運営役員会の議事録
 - ・自然災害などの被害届
 - ・各委員会の動き・HP・たよりの確認

○ 庶務 <久野（まつぼっくり）>

- ・運営役員会の開催（日程調整・会議室の確保・参加者に通知）
- ・会計ソフトの管理・決算書の作成
- ・事務局の事業報告・事業計画の作成

※事務局員を増員し、役割分担を明確化させ、HP作成を広報委員会に引き継いだことで、個々の事務局員の作業量を軽減することが出来た。

2. 運営役員会の開催

平成25年度は、運営役員会を下記の通り、7回開催した。

第1回	平成25年	4月22日	11:00~12:00	アルカディア市ヶ谷 ホーム長研修会・総会 最終確認
第2回		5月14日	9:30~12:00	飯田橋セントラルプラザ ホーム長研修会・総会総括
第3回		9月6日	13:00~17:00	飯田橋セントラルプラザ 全国大会について
第4回		10月30日	11:00~12:00	品川プリンスホテル 全国大会の最終確認
第5回		12月10日	13:00~17:00	飯田橋セントラルプラザ 全国大会の総括
第6回	平成26年	1月28日	13:30~15:30	飯田橋セントラルプラザ 厚生労働省との懇談会について
第7回		3月19日	14:00~18:00	プロミス渋谷お客様サービスプラザ 次年度ホーム長研修会について・総会について 各委員会の事業報告（案）の確認・事業計画（案）・ 予算（案）についての確認

※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取る

3. 事業報告

- ・平成25年 4月22日 ホーム長研修会（アルカディア市ヶ谷）
- ・平成25年 4月23日 全国自立援助ホーム協議会総会（アルカディア市ヶ谷）
- ・平成25年 8月9日 事務局会議（飯田橋セントラルプラザ）
- ・平成25年10月30日~31日 全国自立援助ホーム協議会東京大会（品川プリンスホテル）

平成25年度 制度政策委員会事業報告

自立援助ホームは、平成21年度に従来の補助金制度から児童保護措置費への移行がなされた。また、平成23年度には、事務費の実人員払いから定員払が実現し、運営面での一定の安定が図られてきた。さらに平成24年度には、賃貸家屋補助や収入のない児童の医療費補助が実現し、第三者評価受審に係る経費の補助、特別育成費の支給等々の改善がなされてきたところである。

特に本年度は、民間企業からの寄付をもとにはあるが、児童養護施設や母子支援施設と同様に、自立援助ホームで生活する児童の就職に向けた資格取得のための「社会人一年生スタート応援成」事業が開始したことは、うれしいニュースであった。

今日の目に見えるこれらの前進は、先輩諸氏の長年にわたる地道な努力、闘いの結果であることを今一度確認したい。同時に「社会的養護」の他の施設と同様、その一角を担う施設として、一層の運営責任が求められていることも当然のこととして自覚したい。

現在の全国協議会は、歴史や理念が異なり、運営形態も違うホームが集っているが、民主的な組織運営を図ると同時に、今後も困難を抱えて入居してくる子どもたちのために、子どもたちを護る「最後の砦」として、そして同時に子どもたちが社会に向かって歩みを始めるスタート地点として、私たちが気概と責任を持ち続けるためにホームの質・量をともに発展させたい。

平成 25 年度 調査研究委員会事業報告書

今年度の調査研究委員会は、委員長が機能しなかったことから活動が活性化出来なかった。計画に掲げたことは殆ど実行出来ずに年度が過ぎてしまったことは大きな反省である。

厚生労働省へ提出する「ホーム人数調査」は従来通り行ったが、全国自立援助ホーム実態調査は検討しながらも実行までには至らなかった。今年度については、別の「あり方検討委員会」の中で、簡易的な実態調査の検討に代替した。

今後は調査研究委員会の活動が活性化される為の体制を、根本的に検討していかなければならない。

① ホーム人数調査

毎年、国から要請がある調査であり、利用者の在籍数、年齢、性別やスタッフの構成、加えて暫定定員になったホーム数も調査した。

調査日：平成 25 年 5 月 2 日～5 月 9 日

調査ホーム数：100 ホーム

回答ホーム数：97 ホーム（2 ホーム休止中、1 ホーム未提出）

結果：5 月の厚労省国家予算要望書陳情の際に提出。暫定定員を余儀なくされる制度の課題やホームの現状についても説明をした。

平成 25 年 研修委員会事業報告書

- ホーム長研修会 平成 25 年 4 月 22 日（於：アルカディア市ヶ谷）
 - 行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課
家庭福祉課長 小野太一氏
 - 研修会「事例報告から聴く自立援助ホームの実践と思い」
『自立援助ホーム「人力舎」の実践と思い』
発表者 人力舎ホーム長 高橋克己氏
 - 研修会「自立援助ホームのあり方、子ども達との関わり、
制度・運営についての Q & A」
全国自立援助ホーム協議会運営役員
 - 新規ホーム紹介

参加者 87 名

●女性スタッフ研修会 平成 25 年 7 月 25 日～26 日（於：宇都宮市）

研修会 事例発表 「性について語ろう」

～女性であることを意識する時ありますか？～

発表者	あすなろ荘	金眩廷氏
	清周寮	黒川円氏
	ピアホーム	池淵美智氏

グループ討論

見 学 星の家

参加者 46 名

●全国大会 平成 25 年 10 月 28 日～10 月 29 日（於：品川プリンスホテル）

行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課

家庭福祉課長 小野太一氏

基調講演「自立援助ホームの今までとこれから」

講師 社会福祉法人青少年福祉センター

専務理事 長谷場夏雄氏

分科会①「自立援助ホームの支援のあり方について」

「食卓を囲む大切さ～食事の意味するもの～」

「支援の多様化について」

「暮らしの中での関わり～日常に支援について考えよう～」

分科会②「事例検討～さまざまな退所のかたち～」

「チームワーク～ホーム長が求めるスタッフの動き、
スタッフの求めるホーム長に動き～」

「第一回自立援助ホーム総選挙 2013」

「子どもシェルターについて」

シンポジウム「これからの自立援助ホームが目指していくものは」

コーディネーター はぐくみの杜 高橋克己氏

シンポジスト 足立児童相談所 大浦俊哉氏

ゆずりは 高橋亜美氏

湘南つばさの家 前川礼彦氏

参加者 259 名

●新規ホーム研修会 平成 26 年 1 月 27 日～1 月 28 日（於：アルカディア市ヶ谷私学会館）

研修会 理念と歴史、自立援助ホームの制度・運営について

星の家 星俊彦氏

関係機関との連携 ふくろうの家 高橋一正氏

入居に伴う留意点及び利用契約・生活規則と支援の

あり方について えんどうホーム 遠藤浩氏

シンポジウム「自立援助ホームに求められているもの」

～運営・組織・支援～

星の家 星俊彦氏

カリヨンタやけ荘 小久保志津子氏

- スタッフ研修会 平成 26 年 2 月 24 日～2 月 25 日（於：大阪市立社会福祉センター）
講義「自立援助ホームを続けて行くために」
～職員として求められるもの～
講師 デンマーク牧場こどもの家 松田正幸氏
研修会 グループ討議
シンポジウム「ニーズの多様化の時代に何を応えていくのか」
～今、自立援助ホームに求められているもの～
職員組織について ホームそらまめ 藤川栄治氏
入居者への支援について あすなろ荘 恒松大輔氏
自立援助ホームに期待するもの・求められるもの
大阪府中央子ども家庭センター 河合茂尚氏

- 研修委員会 平成 25 年 5 月 13 日（東京都）
平成 25 年 12 月 3 日（函館市）

平成 25 年度 広報委員会事業報告

協議会事務局の繁忙に伴い、事務局便りに代わる広報誌の発行、ほぼ滞っていた協議会ホームページの改編と更新のため、平成 25 年度に新たな委員会として協議会の中に広報委員会を立ち上げることになった。将来的には、「季刊 児童養護」のような「自立援助ホーム」の研究のまとめの作成・発行を視野に入れ、今後の方針を明確にしていくため、下記の通り年 3 回広報委員会を開催した。

初年度は、事務局便りに代わる『協議会便り』を全国大会後および年度末に発行。第一回の創刊号は、20 周年記念東京大会の内容を盛り込み、新しい試みとして、ホーム長紹介を掲載した。一委員がホームページの改編と更新作業を担う事は負担が大きいが、複数人では作業の進行・統括がしにくいため、ホームページ担当を決めたものの、ホームページの大幅な見直しと拡充は実行できず、来年度への課題として持ち越したい。

- | | | |
|----------|-------------------|---------|
| 第一回広報委員会 | 平成 25 年 6 月 18 日 | まつぼっくり |
| 第二回広報委員会 | 平成 25 年 10 月 18 日 | 憩いの家経堂 |
| 第三回広報委員会 | 平成 26 年 2 月 25 日 | ベアーズホーム |